

【報告】『第3回 のみ SDGs 専門分科会』

「第3回のみ SDGs 専門分科会」は、各分科会ごとに分かれての開催となりました。それぞれの分科会の様子や、委員のみなさんからいただいた意見を紹介します。

<パートナーシップ制度分科会>

11月17日（水）に辰口福祉会館で行われました。

これまでの議論や第2回円卓会議で挙げた意見を基に、パートナーシップ制度の要件や、制度促進のためのアイデア出しを行いました。



いただいたアイデアや意見（一部抜粋）

- ・全市民を対象とするサポーター制度と、企業等を対象とするパートナー制度の2段階構えにすると良いのではないか。
- ・情報発信分科会で検討中のHP内で、サポーター制度の申し込みができるようになると利便性が高い。
- ・将来的には能美市役所による運営ではなく、パートナー制度加入者による審査・認証など自主的に運営できることが望ましい。
- ・旗印になるようなのみSDGsのロゴマークや、オリジナルのバッジを作れると普及のきっかけになるのではないか。

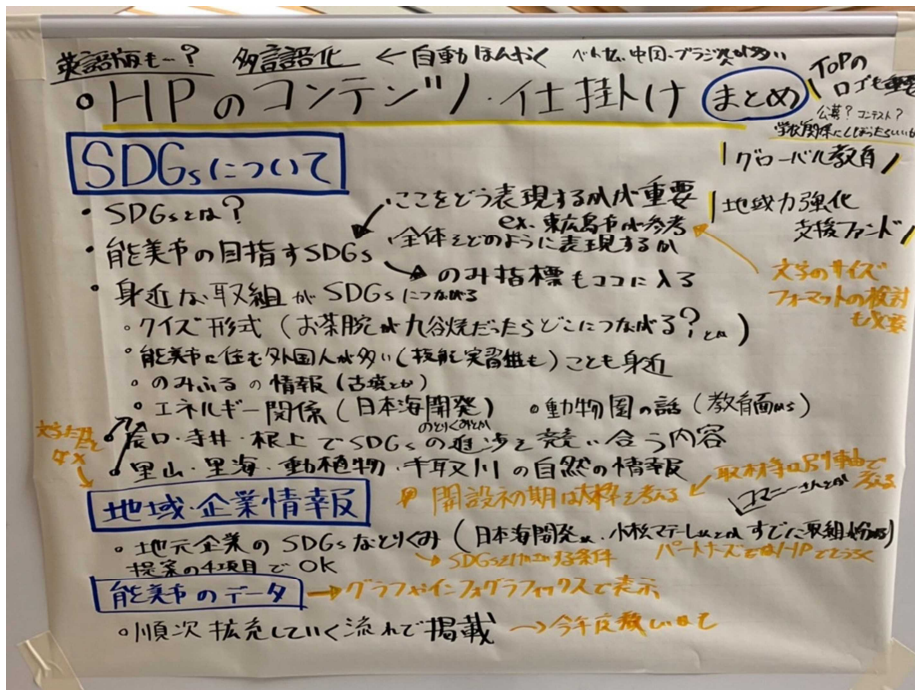
<情報発信分科会>

11月25日(木)に能美市役所の本庁舎で行いました。

前回アイデアをいただいたHPに掲載するコンテンツ案の大枠(「SDGsについて」、「地域・企業情報」、「能美市のデータ」)をさらに深掘しました。さらに、HP以外のSDGs普及・浸透方法についても意見をいただきました。

いただいたアイデアや意見(一部抜粋)

- ・「SDGsについて」の中でも特に能美市の目指すSDGsには独自性が必要であり重要だと感じる。「グローバル教育 for SDGs」や「のみ地域力強化支援ファンド」などあまり市民に知られていない取組も合わせて紹介できると良い。
- ・「地域・企業情報」には、HP開設と同時にいくつかの記事を準備しておきたい。すでにSDGsに積極的であり、協力してくれそうな企業に取材を行えると良い。
- ・のみSDGsの名称やロゴを公募、または投票形式で決定できると、SDGs自体の周知にもつながるのではないか。
- ・能美市のPR動画のように、のみSDGsのPR動画も作成すると良いと思う。ぱっとみてわかるものを用意することがポイントではないか。



<のみ指標分科会>

12月1日（水）に寺井地区公民館で行いました。

前回の分科会で議論した、能美市が大事にし、育てていきたいお人柄である「極めるお人柄」「思いやるお人柄」「つなぐお人柄」を踏まえて、それぞれがどのような構成要素で成り立っているのかを検討しました。

また、それらの構成要素に変化を起こす活動として何が考えられるか、今すでに行われている活動はあるのか、皆様から意見をいただきました。



いただいたアイデアや意見（一部抜粋）

- ・JAISTは能美市の強みであり、共同研究など産官学連携の鍵ともなる。「極めるお人柄」の構成要素となるのではないかと。
- ・能美市はスポーツ選手も排出しており、射撃や競歩など能美市で盛んなスポーツもある。「極めるお人柄」の構成要素として追加できるのではないかと。
- ・「思いやるお人柄」を構成する要素の「多様性」を測る活動として、外国人技能実習生が日本を故郷と思えるよう、言語や生活のサポートを促進する活動などはどうかと。
- ・「つなぐお人柄」の構成要素である「コミュニティ」は、測定が難しいが「持続可能な町会運営」が指標になるのではないかと。町会の歴史の長さ、町会行事などは比較的

調査しやすく、数値を上げる活動として町会行事の充実、オンラインツール等を使用した町会運営の効率化、情報発信などが考えられる。

これまで3回にわたり議論を続けてきたのみSDGs専門分科会。3回目ともなると各会とも、皆で最終的なイメージが共有しながらの具体的な意見交換となりました。これまでの議論や意見を集約しつつ、今後も意見やアイデアを出し合える活発な会にしていきたいと思います。